



出願手続きについて(その2)

第2回進路説明会の
資料をご参照ください。

前号で受験料(入学者選抜料)について書きましたが、保護者の方の準備の都合もあると思いますので、もう少し補足しておきます。選抜()、推薦入試、広島文教女子大附属の特別専願については、冬休み中に出願書類を調える必要があるため、1月6日(金)までに広島県収入証紙または領収控(県立)、納付証明書(市立)、振込証明書(私立)を中学校に提出できるよう指定金融機関等で受験料(選抜料)を納めてください。なお、広大附属につきましては、1月4日(火)出願書類を発送しますので、12月28日(水)には振込証明書を中学校に提出してください。

受験料(選抜料、検定料)

公立高校	全日制	2,200円
	定時制	950円
私立高校	17,000 ~ 20,000円	
広大附属	9,800円	
呉高专など	16,500円	

広島音楽、併願23,000円

また、私立一般(専願含む)受験者には冬休み明けに必要な書類を配付します。選抜()を受検しない者は早めに受験料を振り込み、振込証明書を中学校に提出してください。提出〆切は1月25日頃をめぐりに設定するつもりです。選抜()を受検する者につきましては、できる限り2月8日(水)の選抜()の結果を待ちたいと思います。後日詳しいことはお知らせしますので、それまでは私立一般の受験料は振り込まないでください。

一般入試の出願締め切り

2月3日	修道
8日	比治山、AICJ
9日	崇徳、広陵、文教、安田 進徳、翔洋、国際、桜が丘 瀬戸内
10日	山陽、鈴峯、工大、山陽女

(広島音楽を除く広島地区私立高校)

注意してください!

* もっと緊張感を持って、きちんとした態度で臨むこと

先週の総合の時間に書いた入学願書の下書きを、何枚か見せてもらいました。きちんと説明を聞き、見本を見ながら丁寧に書けた人もいましたが、指示どおり書けていない人もいました。ミスによっては手直ししたり、最終的には訂正印を押せば済みます。一番問題なのは、『人に読んでもらうという気持ちがあるのか』と疑いたくなるような下書きです。練習だからという甘い気持ちを捨ててください。練習で出せない力は、本番でも出せないということを部活を通じて学んだ人も多いでしょう。下書きのときから、一点一画心のこもった字を書きましょう。今週から面接練習を予定しています。本番のつもりで、全力で取り組んでください。

* 校内締め切りを守ること

皆さんが書いた願書はもちろん、高校に出す書類にミスは許されません。だから、先生たちは複数の目でチェックするようにしています。そういうチェックをするために、高校への提出締め切りの前に校内締め切りをもうけています。一人でもその締め切りを守らない人がいると、取り返しのつかない結果につながるかもしれません。そうならないように、しっかりと意識を持って取り組んでください。